

2019年7月 第5号

熊本大学 学生支援室だより

～There is always light behind the clouds.～



～学生支援室だより第5号～



新元号『令和』が発表され、平成最後の時期を入学式、履修登録や授業のガイダンスと忙しく過ごし、大型連休が終わったところで、気づいたら2ターム目に入りました。ほっと一息される頃に、学生支援室だよりを手にして頂けたら幸いです。



《学生支援室の活動状況》

■ 遠隔情報保障システム「T-TAC Caption」についての学習会を行いました。

平成31年2月18日(月)、筑波技術大学(茨城県つくば市)から、3名の先生方をお招きし、遠隔情報保障システム「T-TAC Caption」についての学習会を行いました。「T-TAC Caption」(ティータック・キャプション)とは、パソコンノートテイクを遠隔地から行うためのシステムです。熊本大学で例えると、大江キャンパスで行われる授業を、黒髪キャンパスからパソコンノートテイク(支援)することが可能となります。このシステムを習得することで、可能な支援が増えることとなります。学生支援室では今後もこのような学びの機会を増やしていきたいと考えています。

■ 全学教育棟1階に〈多目的トイレ〉と〈B棟-C棟間のスロープ〉の案内標示(床・壁)を設置しました。

平成31年3月、全学教育棟1階A・B・E棟の床と自動ドアに〈多目的トイレ〉と〈スロープ〉の案内標示を設置しました。多目的トイレにはピクトグラムの案内標示を設置しました。



■ 平成30年度「要約筆記者養成講座」を開講しました。

平成31年3月7日(木)、8日(金)2日間の日程で、「要約筆記者養成講座」を開講しました。参加者は、学生15名、職員3名、他大学からの参加者2名の合計20名でした。

1日目は「聴覚障害のことを知ろう」という演題で、聴覚障害とはどのような障害なのか理解を深め、行うべき支援について学びました。



2日目は、実際にパソコンを使用しながらパソコンノートテイクの実技指導を受けました。パソコンノートテイクでは《IPトーク》というアプリを使うことや、その機能について学び、その後、1人入力・連携入力の実技指導が行われました。受講されたみなさん、とても楽しく学べたようです。この講座で学んだことを、どこかで活かしていただけたらと思います。

■ 熊本県立大学「学生指導のためのメンタルヘルス全学FD・SD研修」で講演を行いました。
 熊本県立大学よりご依頼をいただき、平成31年3月15日（金）に、熊本大学における障がい学生の支援について、学生支援室の取り組みを中心に講演をさせていただきました。参加していただいた教職員の皆様からたくさんの質問をいただき、たいへん刺激となりました。

■ 平成30年度熊本大学卒業式・平成31年度熊本大学入学式において要約筆記を実施しました。



昨年度に引き続き、平成30年度熊本大学卒業式（平成31年3月25日挙行）、平成31年度熊本大学入学式（平成31年4月4日挙行）において、熊本大学学生サポートサークルのスタッフが要約筆記（文字通訳）を実施しました。3月の養成講座受講をきっかけに、学生サポートサークルでの活動を始めた学生さんが、テイクカーとして初参加しました。

■ 九州ルーテル学院大学の集中講義へ熊本大学学生サポートサークルよりPCテイクカーの派遣を行いました。

令和元年5月25日（土）、九州ルーテル学院大学よりご依頼をいただき、九州ルーテル学院大学の学生さんが受ける集中講義のパソコンノートテイクを、学生サポートサークルのスタッフが行いました。パソコンノートテイク初挑戦のスタッフもいましたが、慌てることなく、落ち着いてパソコン操作ができていました。日頃の練習の成果を発揮出来たのだと思います。今回、実際のサポートの現場に関わったことで、たくさんの学びを得られたようです。この経験を活かし、よりよいサポートを目指して活動に取り組んで欲しいと思います。

ミニ知識

睡眠、取れていますか！？

学生さんから「眠れない」「昼夜が逆転してしまった」「起きられなくて授業に間に合わない」などのご相談があります。睡眠は心身にとってとても大事ですが、自分でコントロールをするのは意外に難しいですね。下の表は、厚労省が掲載している睡眠対策情報です。参考にしてみてください。

「もっと具体的な方法が知りたい」「対策をしても眠れない」「生活リズムがくずれて大学の授業に出席できない」とお困りの方は、お気軽にご相談くださいね。

1. 良い睡眠で、からだもこころも健康に。
2. 適度な運動、しっかり朝食、ねむりとめざまめのメリハリを。
3. 良い睡眠は、生活習慣病予防につながります。
4. 睡眠による休養感は、こころの健康に重要です。
5. 年齢や季節に応じて、ひるまの眠気で困らない程度の睡眠を。
6. 良い睡眠のためには、環境づくりも重要です。
7. 若年世代は夜更かし避けて、体内時計のリズムを保つ。
8. 勤労世代の疲労回復・能率アップに、毎日十分な睡眠を。
9. 熟年世代は朝晩メリハリ、ひるまに適度な運動で良い睡眠。
10. 眠くなってから寝床に入り、起きる時刻は遅らせない。
11. いつもと違う睡眠には、要注意。
12. 眠れない、その苦しみをかかえずに、専門家に相談を。



☆ ご存じですか?合理的配慮? ☆

障がいのある学生が合理的配慮の提供を求めている場合はそれを尊重し、建設的対話による合意形成を図るとともに支援に取り組むことが求められます。今回は、合理的配慮の内容および指導方法など、『障害者差別解消法』において求められる内容から「コミュニケーション上の困難」の例についてご紹介します。

(修学において起こりがちなコミュニケーション上の困難の例)

- 先生から言われたことを正確に理解できずに、指示どおりに行動できず、指示とは異なる行動をしてしまう。
- 会話の細部にこだわってしまい、本質から外れたやりとりをすることがある。
- 良好な対人関係を構築することが難しく、集団から孤立してしまう。
- 休講や教室変更、学外実習等予定外の出来事に対して、スムーズに行動を切り替えられない。
- 他者の表情や感情等の読み取りが難しく、場にそぐわない発言や周囲の人の気分を害する言動をしてしまう。

試験時の配慮

試験問題、レポート課題において、問題文は、あいまいな表現を避け、明確な表現を心掛け、回答方法を例示する。

授業時の配慮



- 授業中の支援機器の使用を許可。
- 受講しやすい座席を確保。
- グループディスカッションでは、挙手してから順番に発言するなどの基本的な（暗黙な）ルールを確認し必要に応じて発言内容を板書する。
- 実験・実習授業において、必要に応じて追加のマニュアル等を準備。
- 学外実習授業等において、事前に実習施設を見学する機会を設ける。

その他

- 会話の伝わりにくさを感じる場合、主語述語等を省略せずに、5W1Hを明確にした、より直接的な表現を使う。
- 口頭で伝わりにくい場合、文字や図を書いて説明する。
- 休講等予定が変更される場合に情報を確認しやすい手段をあらかじめ相談して決めておく。
- コミュニケーションスキルの支援を提供している学内の専門部署や学外の支援機関を紹介。

* 提供される配慮は、「授業の本質や到達目標の変更を要しない」等の考えに即して提供されるため、可能な配慮内容は授業によって異なります。熊本大学では、合理的配慮は一連のプロセスを経て実施されていますので、詳しくは学生支援室のHPをご覧ください。

<https://sien.kumamoto-u.ac.jp/>

《熊本大学学生サポートサークル活動報告～サポーター学生さんより》

■ 九州大学に行ってきました！

平成31年2月15日（金）、私たちは九州大学のバリアフリーマップの作成風景を見学する為に九州大学（九州大学障害者支援ピア・サポーター）を訪問してきました。作成風景を見学するにあたって気づいたことは、九州大学障害者支援ピア・サポーターの中に、普段、車イスを使用している学生がいて、積極的にバリアフリーマップの作成活動に参加される姿を見て、私たちも負けないようなバリアフリーマップを作成したいと思いました。今回の訪問は、とても良い刺激となり、これを活かして、今年度も張り切って活動していきたいと思いますので、ご期待ください。（2年；福島）



■ 要約筆記者養成講座に参加しました！

平成31年3月7日（木）・8日（金）に開催された要約筆記者養成講座に参加しました。音の間こえ方の違いや、そもそも音を文字で伝える文字通訳とはどういうことかについて学びました。要約には必須の略し方や逆に絶対に書かなければならないポイントなど重要なことを学ぶことができました。（2年；木村）

■ 九州ルーテル学院大学にPCテイクの支援に行ってきました！

令和元年5月25日（土）、九州ルーテル学院大学よりご依頼をいただき、集中講義におけるパソコンノートテイクの支援に行ってきました。



2年生、4年生合わせて7名で1限～4限までの講義を分担して行いました。個人に対してのテイク活動は2年生にとっては初めてとなりましたが、無事に情報保障を行うことが出来ました。反省点もあったため、見直しを行い、今後の活動や練習の参考にしていきたいと思います。（2年；木村）

■◇■ サポートスタッフ募集!! ■◇■

学生支援室では、これまであったノートテイクサークルの活動を拡大し、様々な障がいへの支援が提供できる体制作りを進めています。名称を『学生サポートサークル』へと変更して活動中です。サークルでは、サポートスタッフとして活動をしてくれる学生さんを募集していますので、バリアフリーマップの作成やノートテイク、手話に興味のある方、誰かのために何かしたいと思っている方、質問からでも大丈夫です。下記までご連絡ください。



熊本大学 学生支援室 (Student Accessibility Support Room)

場所：黒髪北キャンパス 全学教育棟1階
開室時間：月～金 8:00～17:15(祝祭日を除く。)
TEL：096(342)2765, 2766
HP：<https://sien.kumamoto-u.ac.jp/>

